

えべつ未来戦略

パブコメ対象、行政審議会および議会資料に記載

戦略 1 ともにつくる協働のまちづくり

計画期間:平成 26 年度～平成 30 年度

戦略の方向性

少子高齢化をはじめとした社会環境の変化や、安全・安心への関心の高まりなどにより、市民のニーズは多様化、高度化しており、地域が抱える課題も複雑化しています。

その中で、まちの課題を効果的、効率的に解決するためには、市民、自治会、市民活動団体、企業、市内 4 大学、行政などの多様な主体が、それぞれの役割と責任を認識し、互いに尊重しながらそれぞれの得意分野や特性を活かし、協力して取り組む「協働のまちづくり」を確立する必要があります。

平成 21 (2009) 年 7 月に「江別市自治基本条例」が制定され、様々なかたちで協働による取組が進んでいますが、まだ「協働のまちづくり」が確立されたとはいえない状況です。また、「えべつ未来戦略」の他の戦略を効果的、効率的に推進するためにも、協働による取組は不可欠です。

そこで、「協働のまちづくり」の機運をさらに高め、多様な主体や様々な世代が、それぞれ社会の担い手であるという意識をもって、一緒になってまちづくりに取り組める環境づくりや、協働の仕組みづくりに重点的に取り組みます。

- めざす姿
- 地域課題を解決するために、多様な主体の協働による取組が数多く実践されています。
  - 市内 4 大学や大学生と連携した、江別市ならではのまちづくりが進んでいます。

戦略実現に向けての展開(戦略プロジェクト)

戦略を実現するために、より具体的な展開を下記のように行います。これらは、まちづくり政策の各分野と密接に連携しながら、組織横断的に取り組んでいきます。

ともにつくる協働のまちづくり

戦略プロジェクト名

- 多様な主体が協働するまちづくり
- 市内 4 大学が活躍するまちづくり

パブコメ対象外、行政審議会および議会資料に記載

総計議決後に公表（パブコメ対象外、行政審議会および議会資料外）

### 達成度を測る指標

成果指標名称	単位	現状値	目標値
1A-1 多様な主体の協働によるまちづくりが進んでいると思う市民割合			
1A-2 市民、自治会、市民活動団体、企業、4大学、行政のいずれか2分野以上の連携事業数			
1B-1 大学及び学生等との連携事業数			

※現状値は、本総合計画策定時における直近値（平成25年度）

戦略プロジェクト1A

多様な主体が協働するまちづくり

市民、自治会、市民活動団体、企業、市内4大学、行政など多様な主体が協働するためのネットワークづくり、組織づくりを支援し、協働によるまちづくり・人づくりに取り組むことで、協働の機運をさらに高め、江別市における協働を確立します。

パブコメ対象外、行政審議会および議会資料に記載

推進プログラム名称	主な内容・特徴
①協働によるまちづくり	協働の意識の向上を図るとともに、まちづくりのあらゆる分野において、多様な主体の協働による地域課題の解決に取り組みます。
②協働を担う人づくり	協働によるまちづくりを持続させるために、多様な主体が連携し、次世代を担う人材を育成します。
③協働に取り組むための組織づくり	多様な主体の協働による取組をさらに推進するためのネットワークの強化を図るとともに、協働に取り組む新たな組織づくりを支援します。

【関係する主なまちづくり政策】

<08-01> 協働のまちづくりの推進

◇推進プログラム（戦略プロジェクトを推進するための取組 毎年度ローリング）

- ・具体的な事務事業等は、この推進プログラムに紐付けます。
- ・毎年度、予算編成と連動させ、必要に応じてプログラムを見直しながら、具体的な事務事業等を検討します。H26 予算編成においても、このプログラムに基づいて事業の検討をしていただきます。